

北マリアナ諸島海外安全対策情報
平成 28 年度第 4 四半期（1 月～3 月）

1 社会・治安情勢

内政上特に大きな問題もなく政情は安定しており、治安情勢に特段の変化は見られない。一般的に対日感情は良好である。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当事務所が新聞報道等により把握している管轄地域内の当該四半期における犯罪種類別の発生状況（件数）は殺人（1 件）、強盗（3 件）、暴行・傷害（10 件）、性犯罪（1 件）、詐欺（1 件）、麻薬（4 件）、侵入窃盗（6 件）、窃盗（ひったくり・置き引き・車上狙い等を含む）（6 件）であり、家宅侵入や窃盗の他、家庭内暴力を含む傷害事件が後を絶たない。

最近の犯罪事例は次のとおり。

- 1 月 18 日早朝、サイパン島中部ガロライ地区の服飾店に何者かがショーウィンドウをハンマーで叩き壊し、侵入した後、宝石や洋服など総額\$4,026 相当の商品が盗まれた。防犯カメラの映像により、犯人は逮捕された。
- 2 月 13 日朝、サイパン島北部キャピトルヒル地区の弁護士事務所から煙が出ているとの通報があった。消防隊が駆けつけ、消火した後の調べで、発電機を盗まれていることが判明した。犯人はその痕跡を隠すため放火した疑いが持たれている。
- 2 月 20 日、サイパン島南部ダンダン地区の商店にペッパー Sprey を所持した男が侵入し、現金\$800 が盗まれた。その後、犯人は店主に Sprey を吹きかけ逃走した。
- 3 月 16 日、サイパン島南部ダンダン地区のポーカーアーケード付近に人が倒れているとの通報があり、被害者は病院へ搬送されたが、翌日死亡が確認された。
- 3 月 24 日、サイパン島南部ダンダン地区の商店にマスクを付け、玩具の銃と鉈を持った強盗犯が侵入し、現金\$60 が盗まれた。店主とその妻は抵抗した際に頬や背中などを負傷した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

情報には接していない。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

情報には接していない。

5 日本企業の安全にかかわる諸問題

特になし。